

閑話小題

梅酒特区の吉野川市美郷で、新たに2人が来年度から梅酒造りに挑戦する。そのうちの一人、徳島市の岸村憲作さんは美郷地区外から参入する初のケース。38歳という若さもあり、特区の頼もしい戦力となりそうだ。

製造者が増えれば、それに見合うだけの消費拡大が不可欠となる。岸村さんは県外の特区との交流や飲食店でのメニュー化など、さまざまなアイデアを膨らませており、地域の活性化に貢献したいと意気込んでいる。

近く契約農家の梅園で枝の剪定（せんてい）を手伝うそう。地域に解け込もうとの意識も強い。製造者が商品の魅力を競い、協力し合って売り出せば、特区は一段と活気づくに違いない。

（秋月悠）